

No.161
2024/12/17



OPEN オープンユニオン 岐阜大学職員組合ニュース UNION



岐阜大学職員組合発行

〒501-1193 岐阜市柳戸 1 番 1
Tel. 内線 9552 Fax 058-230-1118
E-mail: kumiai@gifunion.sakura.ne.jp
HomePage: 岐阜大学職員組合 (検索)

「ALL 岐阜大学」として話し合った第 41 回定期大会



2024 年 9 月 25 日に、第 41 回定期大会が開催されました。大会はお腹が空く時間である 18 時から開催されたため、大学生協のおにぎりセットでお腹を満たしながらの大会となりました。

第 40 期の執行委員長から、「今回の定期大会では『ALL 岐阜大学』の立場で活発な議論をしてほしい」というあいさつがあり、その後の質疑ではとても活発に議論が交わされました。議事は、第 1 号議案から第 4 号議案まで順に行われました。第 1 号議案では第 40 期の活動報告として、コロナ禍以前と同様の活動状況に戻ったこと、ここ数年の中で最も組合員数が増加したこと、労働条件改善ために岐阜大学と東海国立大学機構との話し合いを重ねたこと、組合員同士の交流や学習活動を活発に行ったことが報告されました。特に組合員数が増えたことについては、質疑が出され、活発な意見交換がなされました。

次に第 2 号議案では、第 40 期の会計決算報告と、会計監査報告がなされました。続いて第 3 号議案では、第 41 期の活動方針が提案されました。主な活動方針としては、岐阜大学と東海国立大学機構における全職員の労働条件の改善を求めること、岐阜大学と東海国立大学機構の民主的な運営と情報公開を目指すこと、岐阜大学職員の組合加入を促進し、組織強化を図ること、組合員同士の交流や学習会を進めること、岐阜大学の全構成員と共により良い岐阜大学の実現を目指すことの 5 点です。そして第 4 号議案では、第 41 期の予算案が検討されました。

議事はすべて承認され、最後は第 41 期の新役員さんのコメントの後、参加者全員で記念写真を撮りました。質疑や議論が活発だったためか、みんなで状況を共有し、みんなで話し合い考える、立場の違いを越えて「ALL 岐阜大学」としての一体感を感じられるような、そんな会合になったように思います。活気のある和気あいあいとした定期大会となり、あたたかな雰囲気の中で第 41 期がスタートしました。

第 40 期中央執行委員長 天池洋介



地域科学部第 1 会議室にて

第 41 期中央役員あいさつ

◆ 中央執行委員長 村瀬 哲磨(応用生物科学部支部)

このたび、第 41 期中央執行委員長に選出されました、応用生物科学部の村瀬 哲磨と申します。1 年間、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

1997 年 12 月に赴任して以来 20 数年が経ちまして、先の見えている時期に入っております。支部の順番ということもあり、また、年配であるということもあって、私が中央の執行委員を仰せつかった面があると思います。できることはしたいと思いますので、ご意見やご要望、叱咤激励をいただけますと幸いです。

自己紹介いたしますと、共同獣医学科におりまして、専門は獣医臨床繁殖学で、動物の雄雌の不妊症、助産、などを扱います。以前は動物病院の診療業務で、酪農家さんの牛の一般診療に従事しておりました。救急車と同じで、診療依頼が入ると駆けつけるという仕事をしておりましたので、決まった時間に休みを取る、決まった時間に仕事が終わる、ということとはほぼあり得ない状況でした。

コロナ禍が明けて、対面で活動ができるようになったと思います。周りの皆様もおっしゃってられますように、組合のレク活動を通して、ぎっくばらんに話ができる機会を設け、少しでも組合の活動とそれによる職場環境の改善につながればいいかと思います。

今年 1 年少しでも職場が働きやすくなるように何かお役にたてればと思っております。できることしかできませんが、できることはしたいと思いますので宜しくお願いいたします。

◆ 中央書記長 村瀬 忍(教育学部支部)

組合の活動には、教育学部で以前に開催されていたお餅つきやバーベキューなど、食べ物のある会にはニコニコ参加していましたが、実質的な組合の活動からは距離をおいてしまっていました。教育学部の若い先生から頼まれたとはいえ、書記長という大役で、かなり戸惑っています。みなさんにお力を借りながら、お役に立てるようがんばります。どうかよろしくお願いいたします。



自己紹介します。専門は言語障害です。なかでも「吃音(どもり)」が専門です。吃音は成人の有病率が1%という、高頻度に出現することばの流暢性の障害ですが、誤解が多く、周囲の間違った対応が本人を苦しめることが問題です。今年、みなさんに好評の本の、第2版を出版しました(「子どもがどもっていると感じたら 大月書店 廣瀨 忍・堀 彰人編著)。一般書ですが、吃音でお悩みの方は、是非手に取ってみてください。教育学部特別支援教育センターの相談員として吃音相談も受けております。お気軽にご相談ください。(廣瀨は私の戸籍名です)

◆ 中央副委員長・書記次長 中塚 温(地域科学部支部)

第41期の中央副委員長・書記次長(兼務)になりました、地域科学部支部の中塚です。支部の委員、中央執行委員は何度か経験があるものの、中央四役は初めてなので緊張しています。前期中央執行部の奮闘により医学部・病院でも組合員が増えたということで、今期も互助組織として意味のある組合、入る価値のある組合となれるように考えていきたいと思います。色々と組合員の方々に頼って何とかやっていきますので、ご意見やご協力よろしくお願いします。

◆ 中央執行委員 近藤 信太郎(工学部支部)

工学部応用物理コースの近藤信太郎です。中央執行委員になったのは今回がはじめてです。2016年に岐阜大学工学部に着任してから、工学部支部に所属しています。

サマーパーティーなどの組合主催の飲み会が定期的にあり、組合に参加していてよかったなと思っています。しかし、工学部支部の組合員の人数が減ってきたため、役員の負担が重く感じる場合がありますので、仕事量をいかに減らしていくかが最近の課題になっています。この1年間どうかよろしくお願いします。

◆ 中央執行委員 辻本 諭（教育学部支部）

今期、中央執行役員を務めさせていただきます教育学部の辻本諭と申します。

これまで私の組合活動は教育学部支部内にほぼ限られていましたが、中央執行部での役目をいただき、身の引き締まる思いです。コロナ禍が終息し、組合員同士が直接顔を合わせる行事がようやく復活してきたいま、各支部内はもとより、支部を超えた交流を活性化させていければと考えております。

教育学部では、今年度より学部建物の大規模改修工事が始まり、職員・学生の労働・学習環境が大きな変革期を迎えています。中央と支部とを繋ぐ役回りとして、その変化をよりよいものにできるよう、関係するすべての皆様と密に連携しながら活動していきたいと思えます。一年間どうぞよろしくお願いいたします。

◆ 中央執行委員 南出 吉祥（地域科学部支部）

今年度中執委員となりました、地域科学部の南出吉祥です。専門は教育学で、若者期の教育課題、とりわけ「若者支援」にかかわる研究をしています。「組合離れ」の傾向は年々広がり、役員のなり手を選ぶことすら困難な状況が続いていますが、人も増えないまま事務仕事も増えるばかりで、「こんな忙しいのに、組合なんてやってられないよ」というのが、多くの人が実感するところかなと思います。しかし、そうして離れていけばいくほど、ますます状況は悪くなっていく一方です。「労働環境の改善」が労働組合の主戦場ではありますが、その問題に向き合うばかりでなく、「立場を超えた仲間づくり」の拠点として、組合が機能していけるように、末席から尽力していければと思う次第です。

◆ 中央執行委員 矢野 宗治（応用生物科学部支部）

中央執行委員に選出されました応用生物科学部支部の矢野と申します。私は、附属農場に所属し、技術職員をしております。

さて、以前は、コロナ禍で組合員同士の意見交換や交流がしにくい状況にありました。また、目まぐるしく社会情勢が変化する環境の中で、一組合員として職場環境をよりよくし、働きやすく安心してできるように、微力ながら取り組んで参りたいと思っています。そして、組合員相互の交流やレク活動など、組合員の交流ができる活動を展開できたらと考えております。一年間、どうぞよろしくお願い申し上げます。